

# たかさご新聞

新年度に当たって

高砂大学校同窓会 会長 泉屋和雄



◇新しい年度を迎えて会員の皆様にはすこやかに過ごしの事と思ひます。

◇旧年中は会員の皆様には多大なご協力・ご支援のおかげで多くの事業を実施することが出来たことに感謝申し上げます。

◇引き続き「能登半島地震復興支援バス研修旅行」を、そして秋には恒例の「秋の日帰りバス研修旅行」を4コースで企画しております。

◇新しく村山金沢市長をお招きし「第1回市政懇談会」を市長と語る私たちの街の未来（仮称）を7月23日（木）に実施する予定であります（詳細は後日）。

◇5月より「ランチタイム・オンステージ」を再開致します。昨年引き続き彦三館一階ロビーでのグループの発表会を実施する予定です。毎回60名前後の観客を迎え定着した活動を楽しんで頂いております。

◇今年度のNHK大河ドラマは「豊臣兄弟」ですが秋のバス旅行でもそのコースを計画しています。『天下一の補佐役』と呼ばれた豊臣秀長が兄・豊臣秀吉を支え天下統一への道をどう導いていくか？ 外交・軍事での補佐役を務めた前田利家はどう描かれるのか、これからの展開が楽しみです。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も会員の行事等への参加をより増やすためその

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

◇今年も役員一同、皆さんの御協力のもと力を合わせて同窓会活動に取り組みますのでご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶とさせていただきます。

発行  
高砂大学校同窓会  
会長 泉屋和雄  
〒920-0901  
金沢市彦三町1-15-5  
金沢中央公民館2F  
TEL (076) 261-8101  
FAX (076) 261-8149  
(HP) http://www.takasagoob.net



QRコードでホームページ

第4回高砂一座を5月27日（水）10時から金沢駅地下広場で開催

5月27日（水）「高砂一座発表会」が開催されます。「高砂一座」に所属する7つのサークルが、日頃の練習成果を披露する舞台を開催します。歌やダンス、楽器演奏などを通じて、皆様に感動と笑顔をお届けいたします。

◇今回の会場はフラットなステージとなっており、出演者と客席の距離が非常に近いのが特徴です。拍手や声援が会場全体を包み込み、出演者と観客が一体となって盛り上がる楽しい時間をお楽しみください。

**高砂一座発表会**  
日時：5月27日（水）AM10:00～  
場所：金沢駅近広場（もてなし広場）  
出演サークル  
※ひまわり会 ※J・ハーブクラブ  
※フラダンスクラブ ※オカリナクラブ  
※草笛愛好会 ※かがやき横メロクラブ  
※金沢ひびき会 ※高砂大学校同窓会役員一同

## ランチタイム・オンステージ

### 語り部九官鳥の会

◇5月25日（月）12時半より、1階フロアにて、「第12回ランチタイム・オンステージ」を開催します。今回は「高砂語り部九官鳥の会」の皆様にご登壇いただきます。◇宮沢賢治の「星めぐりの歌」から着想を得た、語り部九官鳥の創作ストーリーと、お馴染みの「さらやしきのおさく」の紙芝居を、ご披露いただきます。

**ランチタイムオンステージ**  
日時：5月25日（月）12時30分～  
会場：彦三館 1階ホール  
出演：高砂語り部九官鳥の会

## 238人が高砂大学校で学びを開始

### 「入学おめでとう」をいいます

◇令和8年度（第120期）は1組80名2組80名3組78名計238人が4月23日（木）に高砂大学校へ入学しました。

◇野口弘教育長が「最高年齢は90歳と、幅広い年齢層が集いました。学び続ける姿勢は、若い世代の模範となります。大学校での学習が実りあるものとなりますよう祈念しております」と式辞を述べられました。

◇来賓の村山卓市長は「生涯を通じて学びを継続する環境を整えることは、健康づくりのための医療対策にもつながります。何よりも生き生きと暮らし、人との交わりを通じて社会の一員として歩むことが、人生を豊かにしていくのです」と祝辞を述べられました。



祝辞を述べられる村山金沢市長

## 令和8年度高砂大学校大学院入学式が

### 開催されました

◇令和8年度（第61期）は、歴史民俗科120名、果樹園芸科84名、文学美術科108名、総合健康科82名の計394名が、4月24日（金）に高砂大学校大学院へと入学しました。入学式は、来賓に金沢市長村山卓様、高砂大学校同窓会泉屋和雄会長を迎え、多くの新入生の出席のもと執り行われました。

◇本年度の受講者の平均年齢は75歳となり、過去最高を記録したとのことです。これは、これまでの受講生1万5千人余りに新たに加わった方々の、「学び」に対する継続的な意欲の表れではないでしょうか。



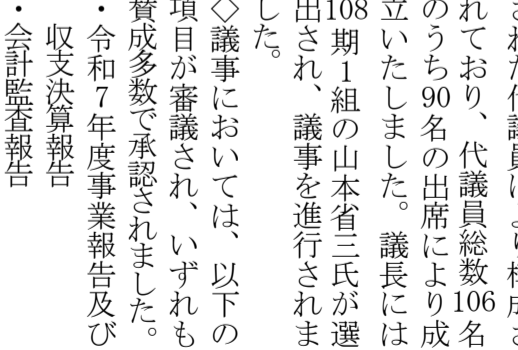
祝辞を述べられる村山金沢市長

## 令和8年度高砂大学校同窓会総会を開催

◇令和8年度高砂大学校同窓会総会が、4月14日（金）13時30分より彦三館大研修室において開催されました。来賓として金沢市長の村山卓様、金沢市中央公民館館長の松本直様、同彦三館館長の田鶴直人様を迎え、多くの関係者の出席のもとで執り行われました。

◇総会には各クラスから選出された代議員により構成されており、代議員総数106名のうち90名の出席により成り立ちました。議長には108期1組の山本省三氏が選出され、議事を進行されました。

◇議事においては、以下の項目が審議され、いずれも賛成多数で承認されました。令和7年度事業報告及び収支決算報告、会計監査報告



退任役員のみなさん

## 令和8年度高砂大学校同窓会

### 第一回各期クラス会長会議を開催

◇令和8年度第1回クラス会長会議が4月17日（金）13時30分より彦三館大研修室に於いて開催されました。来賓として金沢市中央公民館館長の松本直様、同彦三館館長の田鶴直人様を迎え、クラス総数70クラスから代理も含めて60名のクラス会長が出席しました。最初に金沢市民憲章の唱和を行いました。来賓祝辞として中央公民館館長松本直様から祝辞を戴きました。

◇令和8年度同窓会総会や事業計画や収支予算等の報告が有り、審議事項として、第46回すこやか体育まつり、第44回作品発表会、第48回高砂生きがい演芸発表会、



祝辞を述べられる松本館長

オカリナの交流を通して9年生

高砂オカリナクラブ会長  
102期3組 木下幸子  
◇「オカリナのおんなの歌」を唄って始まる高砂オカリナクラブは平成30年に立ち上げて9年目を迎え、「オカリナのクラブを作った良かったな!!」と思うこの頃です。この4月に新入会員6名が増え、33名の大所帯となりました。

◇高砂オカリナクラブはオカリナの技術の修得のみならず、高砂オカリナクラブの「高砂作」の発表会、高砂作品展でのイベント参加、金沢市文化ホールでの「生きがい演芸発表会」の参加と共に、年に1回の課外バス

研修旅行、コーヒーとケーキの歓迎会、クリスマス懇親会等を楽しんでいます。

◇人生の時間を、興味のあることや好きなことを、気の合った他人と少しずつ共有することができたなら、それは大きな幸福であり成功なのだと思います。「好きなことがある幸せ、それができる喜び、好きなことを共にできる仲間が近くにいる!!」これ以上の幸せはありません。

◇高砂オカリナクラブの例年の練習や何気ないやり取りといった些細なことを通じて、このクラブで結ばれた縁(えにし)に感謝をしながら、今日も例会を終えました。



オカリナクラブのみなさん

能登半島地震復興支援バス研修旅行

被災地の今を知る

◇高砂大学校同窓会では今年度も『がんばろう能登』をモットーとして取り組んで参ります。その一環として次のように日帰りバス研修旅行を企画いたしました。

◇日時：6月29日(月)  
コース：金沢駅→総持寺→穴水駅(語り部列車)→和倉温泉駅→和倉温泉復興ツアーズの里山里海ミュージアム→金沢駅

参加費：1万円  
募集定員：70名  
募集期間：5月1日(金)～5月29日(金)  
申込方法：申込書に参加費を添えて同窓会事務局まで



語り部列車

◇何よりも現場を見ること、そしてその時のお話を聞くことで、報道だけでは感じ取れない被災者の方々の体験を実感し、今後の活動の一助にできたらと計画いたしました。皆様の参加をお待ちしております。

◇詐欺の手口は年々巧妙になり、警察官・役所・銀行・家族を名乗るケースも多く、誰でも巻き込まれる可能性があります。

◇「いろいろな危険な事例を知っていること」が最大の防御になります。

◇さらに特大和紙には、復興と世界平和を祈念した「温和」の文字が墨痕鮮やかに書かれました。長年能登に寄り添い続けてこられた先生の、深い情熱と祈りがあふれ出た瞬間でした。

◇法要後は、「珠洲塩田村」を訪れました。ボランティアの助けを借りて再開に漕ぎ着けた苦労や海水汲みの過酷さを伺い、私たちは貴重な塩を買いました。

◇最後に、再開されたばかりの白米千枚田に立ち寄り、一日も早い日常の回復を祈るとともに、微力ながら今後も支援を続けていく決意をあらたに、無事帰路につきました。

**体育まつりのご案内**  
日時：6月9日(火) 10:00～  
場所：総合体育館(泉野出町)

**お詫びと訂正**  
4月1日発行の「たかさご新聞」において、以下の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
【高砂一座公演 記事内】  
■フラダンスクラブ  
講師のお名前  
(誤) 武田 和歌子様  
(正) 竹澤 佐江子様

マクラメってサークルの「コマ

マクラメサークル  
108期1組 源田孝子  
◇三月某日のマクラメサークルの「コマ」を紹介しよう。午前九時過ぎから三々五々と集まりだした会員はそれぞれ自分の作品にとりかかります。入会半年目の二人は二個目にして大作のバッグに取り掛かろうとしています。一つ目の作品よりは難易度の高い作品です。出来上がりを楽しみにせつせと手を動かしています。

◇当サークルには講師の先生がいらつしやらないので、「マクラメ協会」から届いた編み図等を参考にそれぞれ自分で作るのを楽しんで結んでいきます。

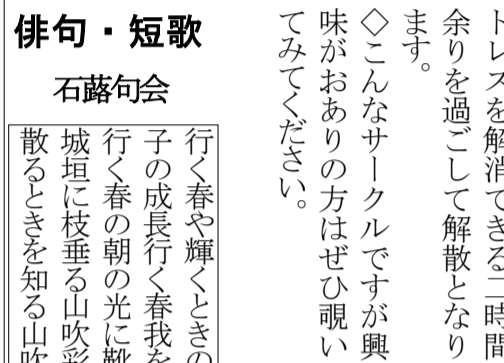
◇マクラメとはひもを結んでいくさまざまな技法のことで、私たちが出会う手芸の中で一番シンプルで、ほとんどの道具がいらなくとも魅力の一つと考えています。

◇開始後三十分程度は、皆黙々と手を動かして結びに没頭しています。入会後年数を重ねた者は作品の数もそれなりに結んでいるので、自分なりのアレンジ等も取り入れていきます。

◇一息ついた頃には手より口が動き始めます。話題は高齢者特有の病氣・薬・老人ホームのこと、果ては税金・子供・孫の話とつきることになります。手はずっかり止まって、口だけが動いていることも珍しくありません。

◇家の中ではこんなにしやべることもないというほどおしゃべりを満喫し、有意義な情報も仕入れて、ストレスを解消できる二時間余りを過ごして解散となります。

◇こんなサークルですが興味がおありの方はぜひ覗いてみてください。



マクラメサークルのみなさん

◇昨日の雨が嘘のような青空が広がった四月三日。午前七時過ぎ、私たち寿雪書道会一行、寿雪先生以下二十五名は、いまだ復興途上の珠洲の地へと出発しました。

◇今回の目的は被災地訪問です。目的地である珠洲に近づくにつれ、途中までの風景と打って変わって、車窓からの景色は一変しました。そこには、目を疑うような災害の爪痕が広がっていました。

◇崖崩れで転がり落ちた巨岩が道路をふさぎ、急遽造られた仮設道路は舌を噛みそうなほど激しいアップダウンが続きます。

◇崖崩れで転がり落ちた巨岩が道路をふさぎ、急遽造られた仮設道路は舌を噛みそうなほど激しいアップダウンが続きます。

ウシが続きます。海岸線に目を向ければ、地震によって隆起した岩礁が白い岩肌を不気味に晒し、かつての景勝地「窓岩」も原形を留めぬほど無惨に崩れ落ちていました。以前の美しい風景を知る私たちは、自然の脅威にただおののくばかりでした。

◇三時間余りの旅を経て、珠洲市の「曹洞宗正覚寺本光寺」に到着しました。日光寺に到着しました。日光寺に到着しました。日光寺に到着しました。

◇いよいよ奉納揮毫の時を迎えました。横笛奏者・藤舎真衣さんの奏でる荘厳な調べが境内に響き渡りました。高き二メートル、幅三メートルの黒いパネルには、外浦復興の祈りを込めた「椿」の文字が金字で力強く躍りました。

泉谷珠洲市長の挨拶、そして安倍元首相夫人・昭恵さんの言葉と続きました。社会貢献支援財団の会長であり、書家としても活躍される昭恵さんは、以前この寺にご縁があります。豊寿先生との繋がりが実現した今回の訪問において、昭恵さんは能登の復興を切に願っています。

◇法要後は、「珠洲塩田村」を訪れました。ボランティアの助けを借りて再開に漕ぎ着けた苦労や海水汲みの過酷さを伺い、私たちは貴重な塩を買いました。

◇最後に、再開されたばかりの白米千枚田に立ち寄り、一日も早い日常の回復を祈るとともに、微力ながら今後も支援を続けていく決意をあらたに、無事帰路につきました。

歌会を休み(歌会始め)見つづつしか涙がにじみ出ておりぬ車より眺めておれば黙々と雪降る車道を老婆が歩く友達じゃないといわれた去年の夏思い出は暗くて粉雪舞いておだやかで優美な姿の友に会う心とられてその振舞いにマイピアノ長き眠りをやっと終えぬ「らくらくピアノ」に入会をして



寿雪書道会のみなさん

俳句・短歌

石菰句会

行く春や輝くときの瞬間  
子の成長行く春我を淋しうす  
行く春の朝の光に靴おろす  
城垣に枝垂る山吹彩をなす  
散るときを知る山吹の潔し

桑本 順子  
西川 眞素美  
廣瀬 照子  
杉江 滄華  
中野 吉隆

雪椿句会

青空や紅白梅の競い咲き  
啓蟄や泥上げ鉄に動くもの  
パンジーの色とりどりの盛りなり  
白々と春を覚える夜明け前  
犀屋忌等に背を向け杏咲く

高三 順治  
陽子  
鉄男  
きよみ

OB短歌会

歌会を休み(歌会始め)見つづつしか涙がにじみ出ておりぬ車より眺めておれば黙々と雪降る車道を老婆が歩く友達じゃないといわれた去年の夏思い出は暗くて粉雪舞いておだやかで優美な姿の友に会う心とられてその振舞いにマイピアノ長き眠りをやっと終えぬ「らくらくピアノ」に入会をして

宏子  
千佳子  
美代子  
洋子  
輝子